

2026年度第1四半期 決算説明資料

期間: 2026年4月1日 – 2026年6月30日



目次

01	2026年度第1四半期の取り組み
02	当該四半期における事業環境
03	決算概要
04	2026年度第1四半期実績
05	ONEの主要航路実績
06	2026年度通期見通し
07	船隊構成

2026年度第1四半期 の取り組み



4月より2026年度の東西航路新サービスを開始。地政学的不透明感や港湾混雑が続くなか、グローバルネットワークの再編・最適化を通じてサービスの信頼性を向上させ、ネットワーク全体の安定性を強化。



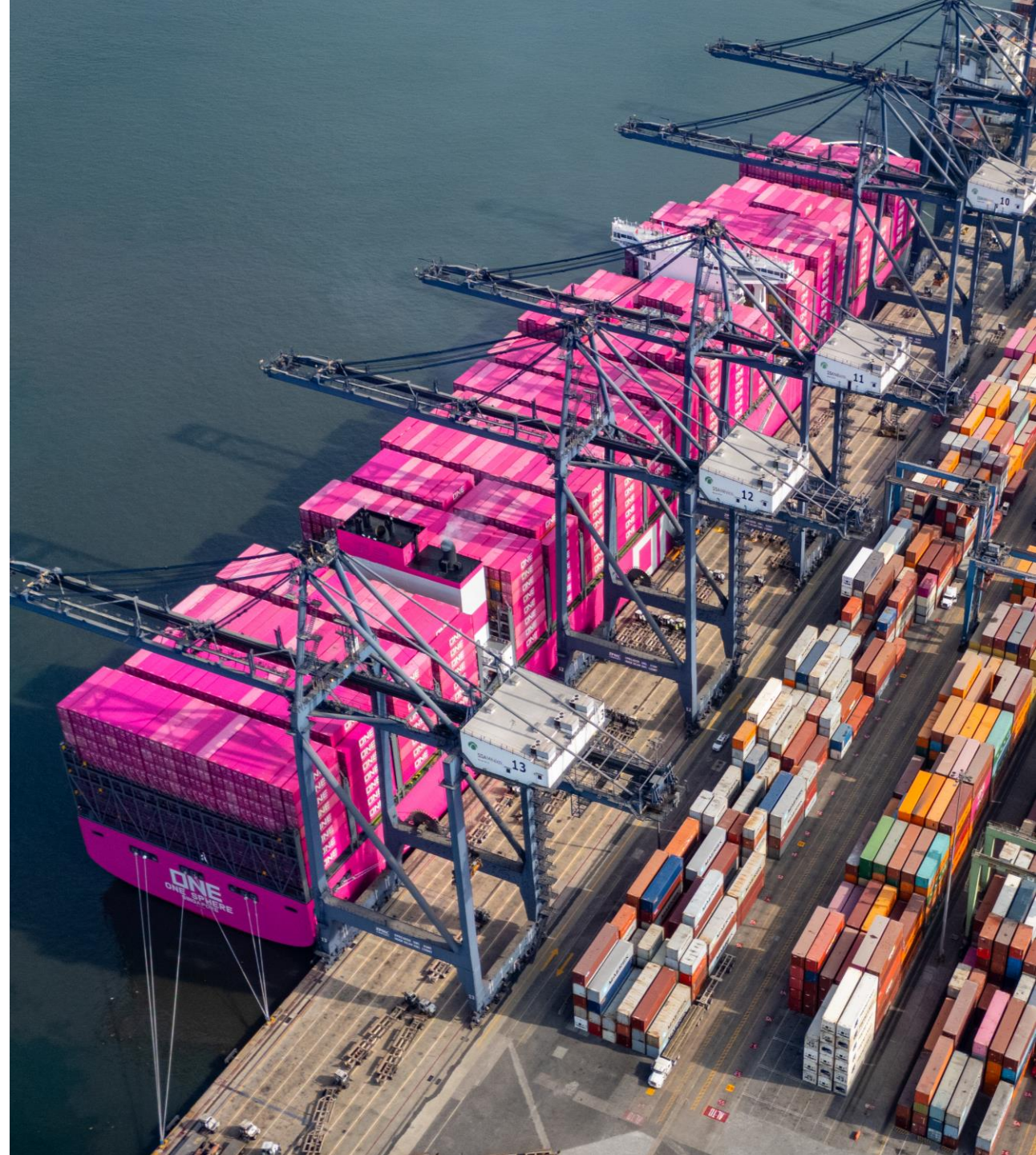
世界各地においてサービスネットワークの戦略的拡充を実施。東西航路における新サービスの開始と合わせ、顧客に対するサービスラインナップを強化するとともにサービスの接続性を向上。



収益性（イールド）向上に向けた戦略的営業施策を推進。運航コストの上昇が続くなか、収益の改善を図り、全体の業績下支えに寄与。



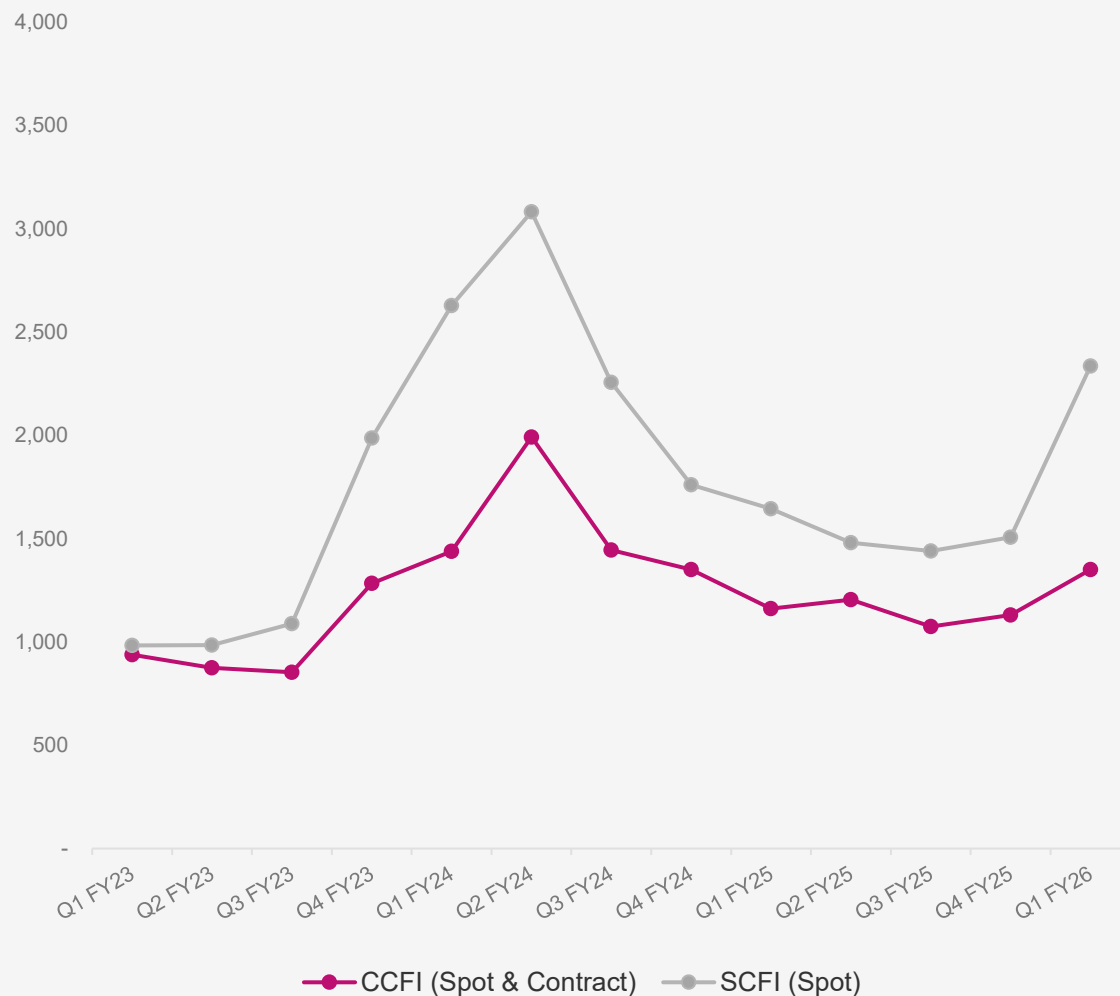
「ONE2030」に基づき船隊整備が順調に進展。新造船の継続的な投入により、ネットワークの競争力強化と環境負荷の低減を推進。



当該四半期における 事業環境

- 当四半期における荷動きは大きく変化し、4月は需要の動向にばらつきが見られたものの、5月・6月は持続的に回復。特に中国発の輸出荷動きが、燃油サーチャージの値上げ予測、関税政策の変更見込みや在庫補充を背景とする前倒し出荷により増加し、北米航路における堅調な需要をけん引。欧州航路も引き続き回復基調を示した。
- 世界のコンテナ船腹量は30万TEU増加し3,400万TEU超へ拡大。一方で、ホルムズ海峡の混乱や継続的な港湾混雑により、新たに増加した船腹の一部が吸収され、市場における実質的な供給能力の拡大は限定的となった。
- 堅調な荷動きを背景に需給バランスが逼迫し、さまざまな航路で運賃の上昇傾向が持続。欧州航路では、長期化する港湾混雑に伴う供給制約が重なり、さらに需給が引き締まった。
- ホルムズ海峡を巡る情勢不安により海上輸送サービスの混乱が継続しており、中東地域への直航サービスの再開は当面困難な見通し。

Market SCFI & CCFI



SCFI: Shanghai Containerized Freight Index, CCFI: China Containerized Freight Index
数値は3ヶ月平均値を表示

決算概要



2026年度第1四半期は厳しい事業環境となるも着実に利益を確保し、31百万US\$の黒字となった。

第1四半期末に向けて堅調な荷動きを背景に運賃水準が上昇した一方、中東情勢の緊迫化に伴い燃料油価格および運航コストが上昇。困難な事業環境のなか、規律を持った事業推進と適切な船腹供給を通じて、高い消席率を維持。

2026年度第1四半期 主要指標

売上高

百万USD

4,539

EBITDA

百万USD

707

EBIT

百万USD

76

税引後損益

百万USD

31

総積高

‘000 TEU

3,257

平均運賃

USD/TEU

1,300

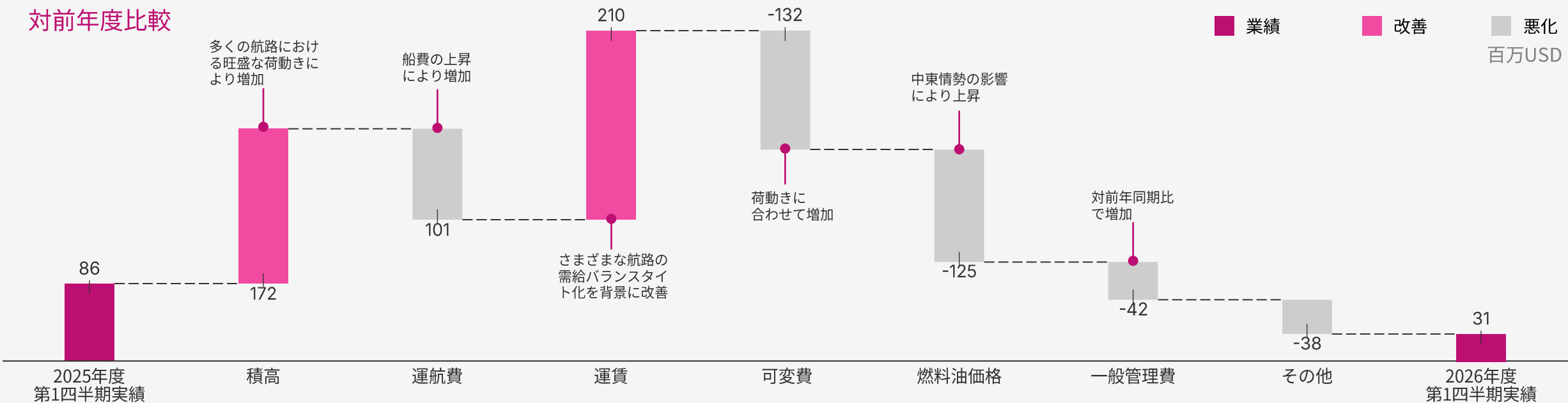
2026年度第1四半期実績

要点

- 主に北米、欧州、南米航路が牽引する形で荷動きが前年同期比で増加。関税政策の変更や燃料油価格の急騰を背景に、駆け込み需要が発生した。
- 期初より回復傾向にあった運賃水準は、荷動きの増加を背景に、第1四半期末にかけて一段と上昇。
- 中東情勢の緊迫化に伴う燃料油価格の高騰により、運航コストが増加。

	Q1FY26	Q4FY25	増減	Q1FY25	増減
売上高	4,539	4,042	497	4,049	490
EBITDA	707	719	-12	616	91
EBITDA Margin	15.6%	17.8%	-2.2%	15.2%	0.4%
EBIT	76	74	2	38	38
EBIT Margin	1.7%	1.8%	-0.1%	0.9%	0.8%
税引後損益	31	55	-24	86	-55
燃料油価格	\$666	\$440	\$226	\$535	\$131

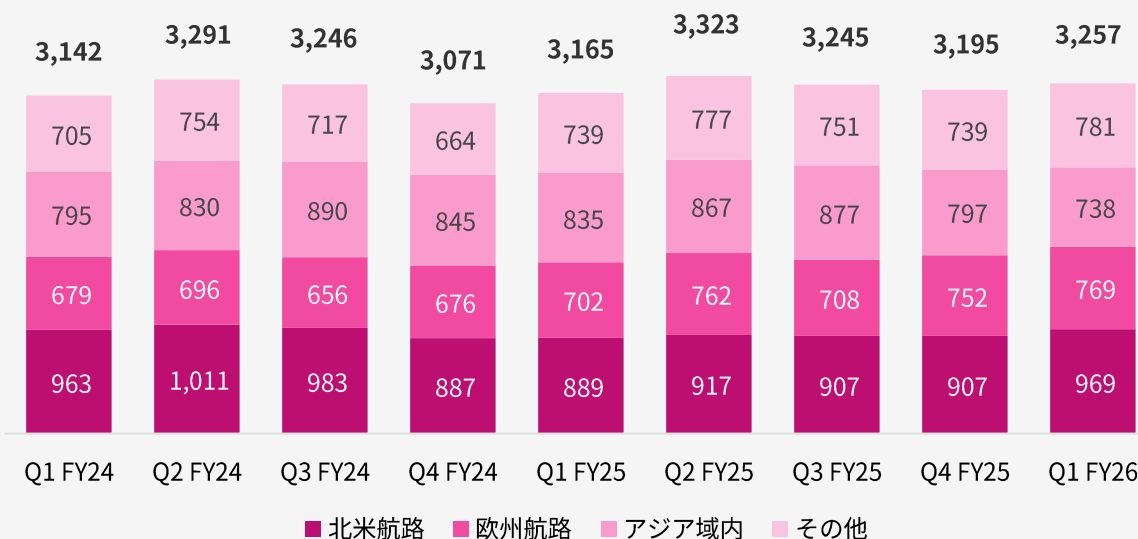
対前年度比較



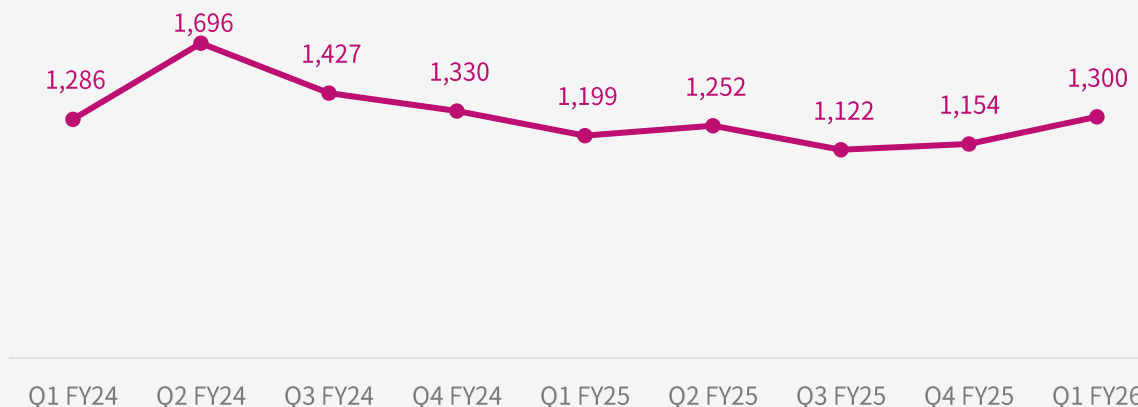
ONEの主要航路実績

- 第1四半期の荷動きは、主に北米航路や南米航路が牽引する形で堅調に推移。
- 北米航路では、7月末の関税政策の変更を見越した駆け込み需要や、小売在庫補充の動きを背景に、5月以降の荷動きが増加。
- 欧州航路でも荷動きの着実な回復が見られた。需給バランスの逼迫で運賃水準が上昇し、全てのサービスで満船運航が続いた。
- 期末にかけ全体として旺盛な荷動きとなり、船腹需給のタイト感を背景に消席率が改善した。

航路別積高 ('000 TEU)



平均運賃推移 (USD/TEU)



2026年度通期見通し

			百万USD			
			2026年度最新予想			
			前回予想			
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	10,200	9,200	19,400	9,400	9,100	18,500
EBITDA	2,100	1,500	3,600	1,300	1,700	3,000
EBIT	850	250	1,100	50	450	500
税引後損益	750	150	900	-50	350	300

要点

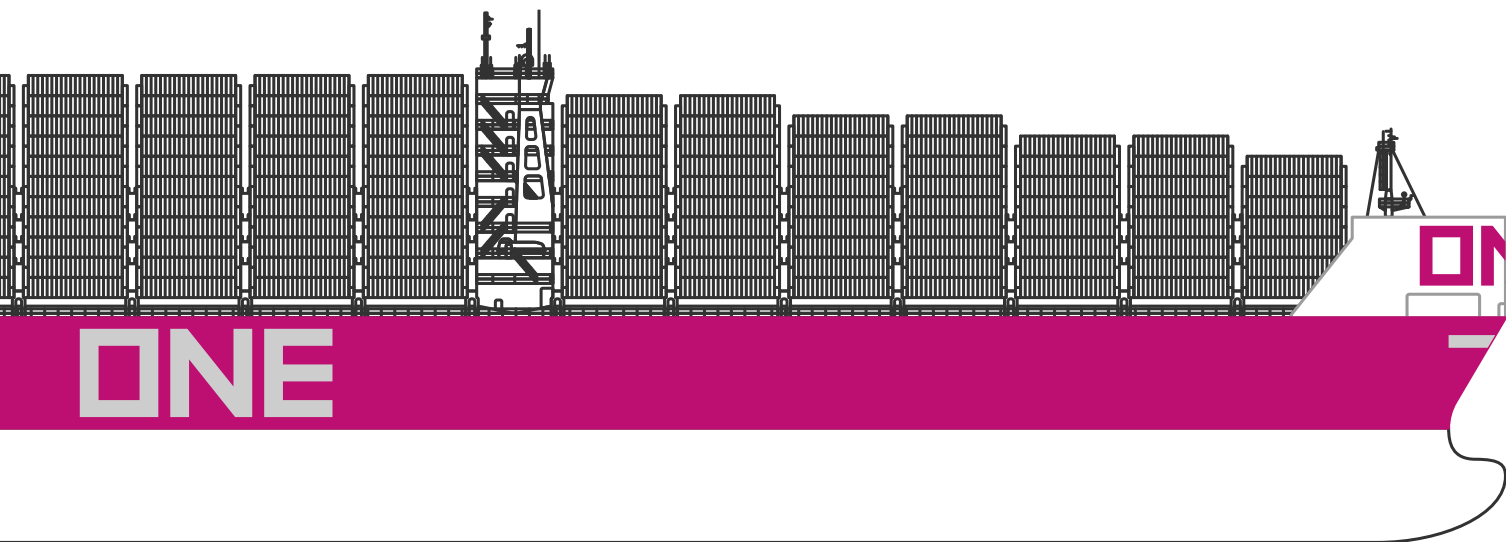
足元の運賃上昇および堅調な荷動きを踏まえ、通期の業績予想として900百万US\$（前回予想300百万US\$）を見込む。

短期運賃は第1四半期以降、上昇傾向が続いており、堅調な荷動きを背景にさまざまな航路で、特に第2四半期において高い運賃水準が維持される見通し。燃料油価格の上昇により下期の業績見通しを調整するも、上期の税引後利益は前回予想から大幅に上方修正する。

本見通しは、ホルムズ海峡の情勢が依然として流動的なるも、10月に紛争前の水準まで運航条件が安定化し、また喜望峰ルートの利用が年度内は継続することを前提としている。

船隊構成

2026年6月30日時点



≥ 20,000 TEU

12 隻

264,600 TEU

10,000 – 19,999 TEU

75 隻

989,466 TEU

5,000 – 9,999 TEU

85 隻

651,754 TEU

≤ 4,999 TEU

112 隻

354,678 TEU

主要項目

2026年6月30日時点



284

隻



2,260,498

TEU

新造船デリバリー

2026年第1四半期中



1

隻



13,932

TEU

発注残

2026年6月30日時点
長期用船含む



53

隻

うち年度内デリバリー
予定



7

隻

免責事項

本プレゼンテーションに含まれる情報は情報提供のみを目的としたものであり、いかなる推奨、表明、保証、または業績の補償を構成するものではありません。本資料に含まれる情報は、網羅的であること、または受領者が希望するすべての情報を含んでいることを意図するものではありません。

Ocean Network Express Pte. Ltd.（以下「ONE」）は、本プレゼンテーションに含まれる情報の正確性、完全性、または信頼性について、明示的か黙示的かを問わず、一切の保証を行いません。

本プレゼンテーションには現在の予測に基づく見通しおよび将来予測に関する記述が含まれておりますが、過去の業績は将来の結果を示すものや保証するものではありません。実際の業績や動向は、ONEの管理を超える既知および未知のリスク、不確実性、予測不能な事態、ならびに市場要因により、大幅に異なる可能性があります。

本プレゼンテーションに含まれるすべての情報および意見は発表日時点で入手可能な情報に基づいており、予告なしに変更されることがあります。ONEは、新しい情報、将来の事象、あるいはその他の結果にかかわらず、本資料に含まれる記述やデータを更新または改訂する義務を負いません。

受領者は自らの責任において独立したリスク評価を行い、必要に応じて専門家の助言を求めてください。また、本資料に含まれる情報を財務上の助言、あるいは将来の業績の保証や約束として依拠すべきではありません。本資料に含まれる情報は、専門的な投資助言やその他のいかなる助言・推奨の提供も意図しておらず、受領者の特定の投資目的、財務状況、またはニーズを考慮したものではありません。ONEは、本資料に含まれる情報の使用または依拠から生じた、あるいはそれに関連して生じた一切の損失、損害、費用、または経費（直接的、間接的、結果的損害かを問いません）について、理由の如何を問わず一切の責任を負いません。

特に明記がない限り、すべての数値は米ドル（USD）表記です。

AS ONE, WE CAN.

ONE

OCEAN NETWORK EXPRESS